**報告-2**

# 2023 年度　公益社団法人日本地すべり学会　事業計画

## １．総務部

(1)行事

① 通常社員総会の開催： 2023 年 6 月 9 日(ハイブリット開催)

② 理事会の開催：年 4 回の予定

第 1 回 2023 年 5 月 12 日、第 2 回 2023 年 9 月 19 日、

第 3 回 2023 年 11 月、第 4 回 2024 年 3 月を予定

③ 役員選挙の運営： 2023 年 12 月～2024 年 3 月

④ 次年度社員総会の準備：2024 年 6 月を予定

⑤ 学会活性化施策の企画調整（各支部・各部調整、会議）

(2)庶務

・執行部会参加と審議、電磁記録により理事会対応

・理事会、執行部会の議事資料および議事録の作成

・定款・規則・細則の見直し、整備

・選挙管理委員会、表彰委員会等の支援

・学会アウトリーチの補助、岐阜大会の補助

・学会長の特命事項

(3)財務

・決算書および予算書の作成

・遊休財産、特費活用等の企画調整(事務局と協力)

(4)広報

・HP 内容の更新および情報の充実

・会員管理システムの維持(メーリングリスト管理)と情報発信の促進

・SNS の活用

・対外活動に係る事項(事務局と協力)

(5)部会

・年 2 回程度の開催を予定（WEB 会議）

## ２．事業計画部

(1)2023 年度シンポジウム（学会 60 周年記念シンポジウム）の開催

・日　時：2023 年 6 月 9 日 13:00～16:50（予定）

・会　場：ＴＫＰガーデンシティ渋谷（ハイブリッド開催を予定）

・テーマ：「これからの日本地すべり学会に求められる社会貢献（仮)」

(2)第 62 回研究発表会及び現地見学会(岐阜県高山市)の開催

①県民講演会

・日　時：2023 年 9 月 19 日

・会　場：高山市民文化会館

②開会式・特別講演・研究発表会

・日　時：2023 年 9 月 20 日～9 月 21 日
・会　場：高山市民文化会館
③意見交換会
・日　時：2023 年 9 月 20 日
・会　場：飛騨ホテルプラザ
⑥現地見学会
・日　時：2023 年 9 月 22 日
・見学地：3 コース予定（詳細検討中）
＊県民講演会、開会式・特別講演・研究発表会はハイブリッド開催を予定

(3)地すべり・土石流災害調査報告会
・研究調査部と共催（予定）

(4)部会
・年間 6 回(偶数月)の開催を予定

## ３．編集出版部

(1)編集委員会
①編集委員会の開催(12 回)
②日本地すべり学会誌 Vol.60(3)～Vol.61(2)の刊行(6 回)
特集号の企画：
・60(4)「人工斜面の安定度評価と維持管理」シンポジウム連携特集号
・60(6)「すべり面の物性と構造に関する調査・研究の進展」
・61(2)「すべり面に作用する地下水頭変化の捉え方に関する課題」
③日本地すべり学会誌電子ジャーナル(J-stage)の刊行
・会員は全号閲覧可能・非会員は 1 年以前閲覧可能
④技術報告賞および査読者賞の候補者選定
⑤ML による学会誌最新号案内・特集号原稿募集案内の配信
⑥検討中の事項
・特集号の企画
・シリーズ(「地すべりキーワード 101」、「地すべり探訪」)の継続、講座・シリーズの企画、フォーラム、談話室の充実
・投稿を促進する方策
・ジャーナル投稿・審査システム「Editorial Manager」のカスタマイズ

(2)出版委員会
①委員会の開催(定例 4～5 月、必要に応じて適宜開催)
・出版・販売計画の作成
・出版・販売促進活動の実施
②検討事項
・「LANDSLIDES IN JAPAN」の大幅改訂に向けた検討（準備会を組織し、改訂内容を検討）
③出版企画の審査（必要な場合）

## ４．研究調査部

(1)研究助成

・昨年度からの継続課題は１件である。

埋もれ木の年代測定に基づく歴史的大規模土砂采配の再検証：池口崩れの事例、2 年目、代表：山田隆二

・今年は新規課題を 1 課題募集の予定である。

(2)研究委員会

・以下の４つの研究委員会の活動を継続して行う。

A: 地すべりブロックの設定に関する研究委員会、2020～2023 年、代表：林一成

B：雪氷圏の地すべり研究委員会、2018～2024 年、代表：岡本隆

C：地震時地すべり研究委員会、2018～2023 年、代表：土井一生　(2026 年まで延長希望)

D：すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会、2019～2024 年、代表：中村真也

なお、上記委員会においては必要に応じて委員の追加公募を行う。

・今年度も新規の研究委員会テーマ及び委員の公募を行う。

(3)地すべり・土石流災害調査報告会

・今年度も例年実施している災害調査報告会を 11 月に開催する予定である。

(4)研究調査部会

・研究発表会に合わせて部会を開催する。また必要に応じてメール審議、ないしは Web による部会を開催する。

## ５．国際部

(1)ICL への各種協力

① ICL/IPL 運営会議への参加

② KLC2020 の推進（オープンアクセスブックシリーズ[Progress in Landslide Research and Technology]への投稿推進、大会時のセッション開催等）

③ WLF6 参加促進

④ その他の協力

(2)2023 年度会合(全国大会時を予定)

2023 年 9 月大会

(3)海外研究者の招聘講演

・海外研究者等による講演会（遠隔または対面により開催）

(4)学会誌「フォーラム」へ Landslides 誌掲載論文の紹介記事投稿

(5)その他の継続審議課題の検討

・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性

・SATREPS に関連したシンポジウムの企画の可能性

・日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝の可能性

・「斜面防災技術国際化委員会」との連携

## ６．表彰委員会

(1)学会賞(論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞及びその他の賞）の審査

・表彰委員会にて審査(推薦締め切りは 2023 年 3 月 1 日)

・表彰式(2023 年 9 月 20 日、岐阜大会会場にて実施)

(2)名誉会員候補の検討

## ７．解説委員会

(1)解説委員会の開催

9 月の研究発表会に合わせて委員会を開催する。また，必要に応じてメール審査による委員会を開催する。

(2)マスコミ対応

災害等におけるマスメディアからの取材依頼等に個別に対応する。

## ８．選挙管理委員会

(1)代議員選挙

・2023 年 3 月に実施した代議員選挙の結果を、理事会と社員総会で報告

(2)役員選挙

・2024 年 3 月に実施する役員選挙の準備・実施

## ９．斜面対策技術国際化委員会

(1) 海外での斜面対策工の設計に関する課題を整理し，設計技術解説書（日英版）等の整理を行う。

(2) そのために原稿の推敲会議（年間 10 回程度）と年間 2 回程度の委員会を開催する。

(3) 完成した設計技術解説書の日本語版を英語版に翻訳する。

## １０．北海道支部

(1) 支部総会：2023 年 4 月 28 日、TKP 札幌ビジネスセンター赤レンガ前(札幌市)で開催予定

(2) 研究発表会：同上

(3) 現地検討会：6～10 月の開催を予定(場所未定)

(4) 第 1 回支部運営委員会：6～7 月の開催を予定

(5) 技術講習会：6～9 月の開催を予定

(6) 第 2 回支部運営委員会：1～2 月の開催を予定

(7) 広報活動：支部ホームページ公開、通年

(8) 社会貢献活動等：講師派遣、報道対応、災害調査、随時

(9) 他学協会との交流活動

北海道地すべり学会、応用地質学会北海道支部、
斜面防災対策技術協会北海道支部、北海道地質調査業協会など

## １１．東北支部

(1)支部事業

①2023 年度東北支部総会

・日時：2023 年 5 月 12 日　15：00～19：00（仙台市内）
・特別講演 2 件、意見交換会
②2023 年度地すべり現地検討会
・時期：2023 年 9 月下旬～10 月初旬（福島県）
③講演会
・地すべり調査、研究に関連する研究成果についての講演
・時期：2023 年 6 月下旬
④「斜面変動研究ワーキング」
・若手育成事業を活用した支部若手、中堅会員を対象とした研究、情報交換の場としての勉強会とする。
・テーマごとに複数回実施予定
⑤研修会
・支部会員向けの「斜面防災危険度評価ガイドブック」を題材とした地形判読の実践的演習
・2023 年 4 月に第 1 回を開催し複数回を予定

(2)広報･会勢拡大活動
①支部ホームページの常時更新、支部だより発行(2023 年 12 月)
②各委員会と連携し事業活動を通した支部の宣伝活動
・連携各団体及び協会へ講師派遣(通年随時)
・地すべり調査・設計に関する技術講座(官公庁向け・市民向け)の開催

(3)栗駒山麓ジオパークとの連携
・荒砥沢地すべりを題材としたジオパーク事業への参画
・継続した実施可能な内容として一般や他学協会に対する普及活動の場とする。

## １２．新潟支部

(1)2023 年度支部総会，シンポジウム
・2023 年 5 月実施予定（会場未定）

(2)2023 年度地すべり現地検討会
・2023 年 10 月～11 月頃、新潟県内の地すべり地を予定

(3)新潟県地すべり災害記録 CD 改訂版出版
・2024 年 1 月作業開始、2024 年 5 月出版

(4)若手対策事業
・学生会員を対象とする公募型研究助成の実施

(5)関連団体との連携
・新潟県地すべり対策研究会(事務局：新潟県砂防課)への参加

(6)幹事会
・支部幹事会を 2 ヶ月に 1 回の割合で開催

## １３．関東支部

(1)支部総会：2023 年 5 月 9 日
（日比谷図書文化館地下 1 階大ホール(東京都)）

(2)関東支部シンポジウム：2023 年 5 月 9 日

（日比谷図書文化館地下１階大ホール(東京都)）

(3)意見交換会：2023 年 5 月 9 日

(4)現地検討会

・2023 年 5～7 月　1 回

(5)共催行事

・2023 年 11 月　(一社)斜面防災対策技術協会関東支部との共催

(6)運営委員会・幹事会等

①運営委員会

第 1 回 2023 年 4 月、第 2 回 2023 年 12 月

②幹事会

第 1 回 2023 年 4 月、第 2 回 2023 年 6 月、第 3 回 2023 年 9 月

第 4 回 2023 年 12 月、第 5 回 2024 年 3 月

③(一社)斜面防災対策技術協会関東支部との定例会

2023 年 6 月

(7)災害調査

・災害発生状況に応じて本部と連携して適宜実施

(8)支部活動活性化のための活動

・学会本部との協議を踏まえて 5 月頃までに企画検討

## １４．中部支部

(1)支部運営委員会：2023 年 4 月 21 日　長野市

(2)支部総会及び特別講演会：2023 年 4 月 21 日　長野市

(3)アウトリーチ活動・会員対策活動：開催時期及び場所は未定

(4)支部シンポジウム：開催時期及び場所は検討中

(5)中部支部ニュースの発行：2024 年 3 月 31 日発行

(6)支部幹事会：年 4 回開催

## １５．関西支部

(1)第 1 回運営委員会：2023 年 4 月 7 日、オンライン

(2)総会：2023 年 4 月（日付未定)、オンライン

(3)講習会：2023 年 5 月予定、四国地方

(4)研究技術集会：2023 年 6 月 1 日、対面（大阪市ドーンセンター）およびオンライン

(5)現地討論会：2023 年 10 月予定、奈良県

(6)第 2 回運営委員会：2023 年 11 月予定、オンライン

(7)会誌「らんどすらいど」 No.39 発行：2024 年 1 月　予定

## １６．九州支部

(1)幹事会：2023 年 4 月または 5 月、オンライン開催または福岡市

(2)総会：2023 年 5 月中、オンライン開催

(3)支部研究発表会：2023 年大分大会

(4)現地検討会(支部主催)：2023 年大分大会で実施を検討中
(5)現場見学会(斜面防災対策技術協会九州支部・九州地区地すべり防止工事士会（共催)：未定
(6)若手会員育成・会員数増加に関する活動：現地検討会と合わせて検討中
(7)技術検討会：2023 年 12 月または 2024 年 1 月、沖縄県（ハイブリッド開催も検討中）

## １７．会員数対策

(1)シニア
春期：談話会
秋期：関東近辺の地すべり巡検
(2)若手
・日本地すべり学会 BIM/CIM ネットワークの運営
（構成：メンバー総数 99 名、内；オーガナイザー12 名、アドバイザー2 名）
⇒オーガナイザーミーティング、オンライン会合・現地会合の実施
・若手対策事業の支援
⇒各支部における若手活動への財政支援
・各支部の若手対策担当との連絡会の実施
・若手会員数対策の検討
(3)その他
・周辺領域の学協会との連携を強化する。
・魅力的な行事等の創出により、会員数増加を図る。

## １８．アウトリーチ

(1) 組織
アウトリーチ検討連絡会を Web 開催して活動を行う。
(2) メディアを意識したアウトリーチ活動
ホームページの掲載内容の検討
地すべり学会とメディアの連携強化策の検討
(3) アウトリーチ活動の活発化のための本部対応についての検討
アウトリーチに用いるツール（模型など）のデータベース作成
アウトリーチに用いるツール（模型など）の学会所有検討
各支部の活動状況の整理と情報共有

以上